



労働市場のようす(平成22年12月分及び平成22年分の求人・求職の取扱状況について)

雇用情勢は持ち直しの動きが続いているが、依然として厳しい状況にある。

〈平成22年12月内容分〉

1 求人倍率の動き(季節調整値)

- ① 有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る0.57倍となった。(全国0.57倍、第22位)
- ② 新規求人倍率は0.98倍となり、前月を0.04ポイント下回った。
- ③ 正社員求人倍率(原数値)は、0.38倍となり前年同月を0.12ポイント上回った。

2 求人の動き(原数値)

- ① 新規求人数は7,988人で、前年同月より17.9%増加した。
- ② 有効求人数は23,304人で、前年同月より36.8%増加した。

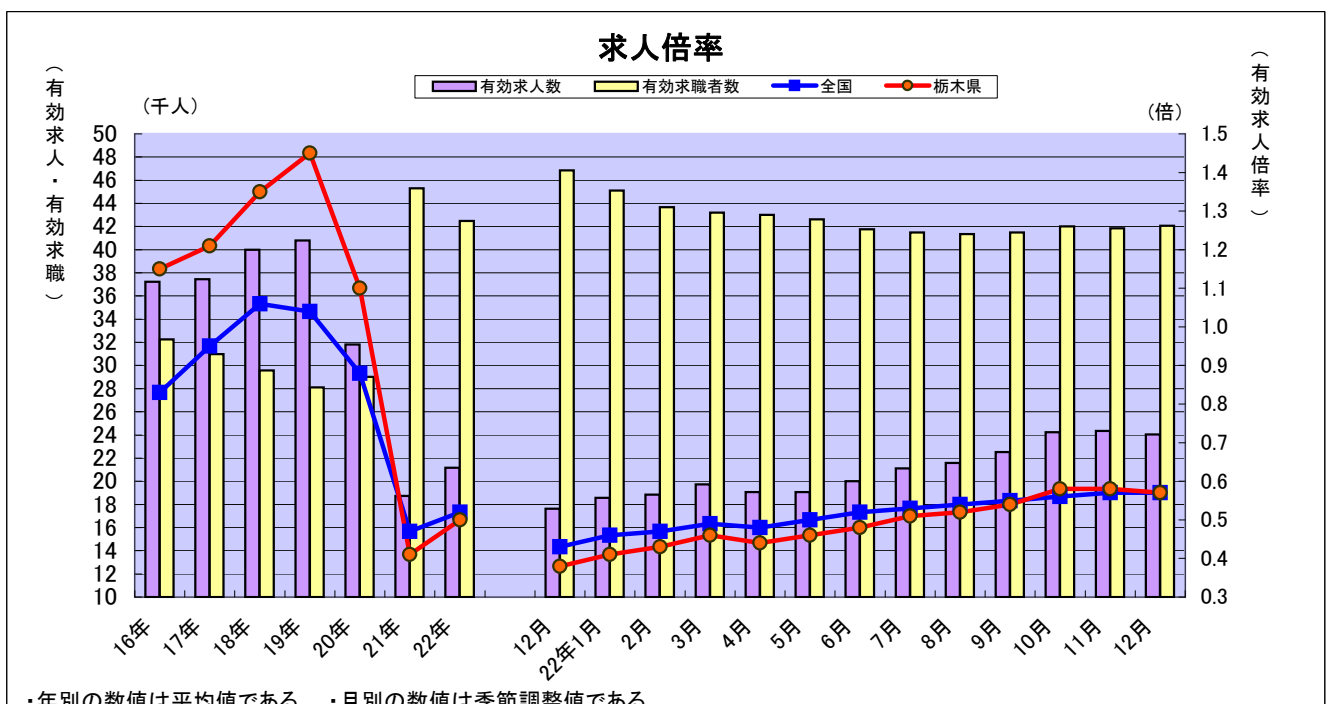
3 求職者の動き(原数値)

- ① 新規求職者数は7,093人で、前年同月より3.7%減少した。
有効求職者数は36,773人で、前年同月より10.4%減少した。
- ② 雇用保険受給資格決定件数は1,500件で、前年同月より13.3%減少した。
雇用保険受給者実人員は8,799人で、前年同月より27.1%減少した。

〈平成22年内内容分〉(原数値)

平成22年の平均有効求人倍率は前年を0.09ポイント上回る0.50倍となった。(全国0.52倍、第25位)

- ① 新規求人数は105,755人で、前年より14.0%増加した。
- ② 有効求人数は253,930人で、前年より12.9%増加した。
- ③ 新規求職者数は115,501人で、前年より8.7%減少した。
- ④ 有効求職者数は509,762人で、前年より6.2%減少した。



※平成21年12月以前の季節調整値は新季節指数により改訂されている。